

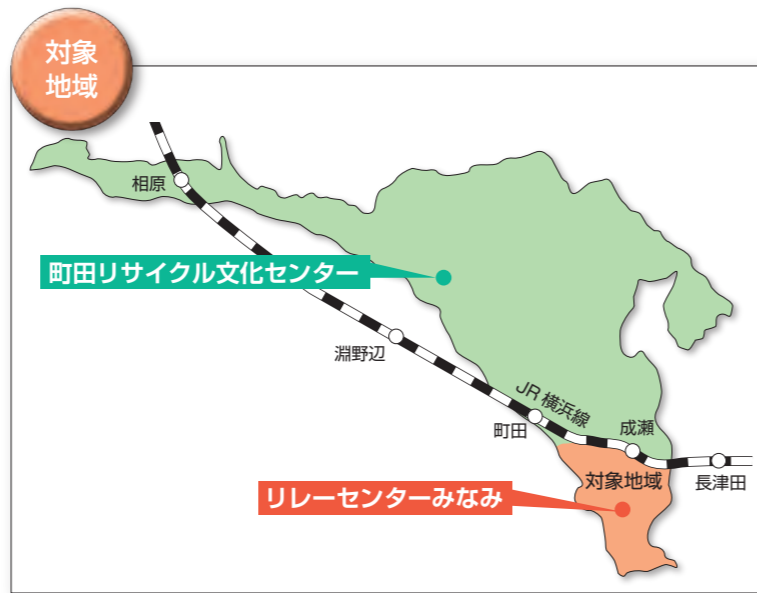


施設概要

- 名称 / リレーセンターみなみ
- 所在地 / 東京都町田市南町田2-6-14
- 敷地面積 / 1,459.23 m²
- 延床面積 / 2,373.74 m²
- 構造 / 鉄骨鉄筋コンクリート造
(地上1階、地下1階)
- 処理能力 / 燃やせるごみ中継施設
100t/日
容器包装プラスチック圧縮梱包施設
4.9t/5h
- 竣工 / 燃やせるごみ中継施設
1985年2月
容器包装プラスチック圧縮梱包施設
2016年3月



〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22
TEL : 042-722-3111 (代表)
www.city.machida.tokyo.jp/



快適な生活環境を守ります

リレーセンターみなみ

燃やせるごみ中継施設・容器包装プラスチック圧縮梱包施設

Relay Center MINAMI



大切な資源を有効に再利用し、ごみの減量に貢献する施設——「リレーセンターみなみ」

リレーセンターみなみは「燃やせるごみ中継施設」として収集運搬の効率化に貢献してきました。

従来の「燃やせるごみ中継施設」に加え、ごみの減量および資源化を進めるため容器包装プラスチック圧縮梱包施設を新たに設置しました。



町田市長
石坂 丈一

町田市では、循環型社会の実現を目指して、2006年から2007年にかけて開催した「ごみゼロ市民会議」を始め、今日まで市民の皆様と協働でごみの減量や資源化に取り組んでいます。

現在、ごみとして処理する量の40パーセント削減を目標に掲げ、様々な施策を展開しており、その中の取り組みのひとつとして、新たな「ごみの資源化施設」の整備を進めています。

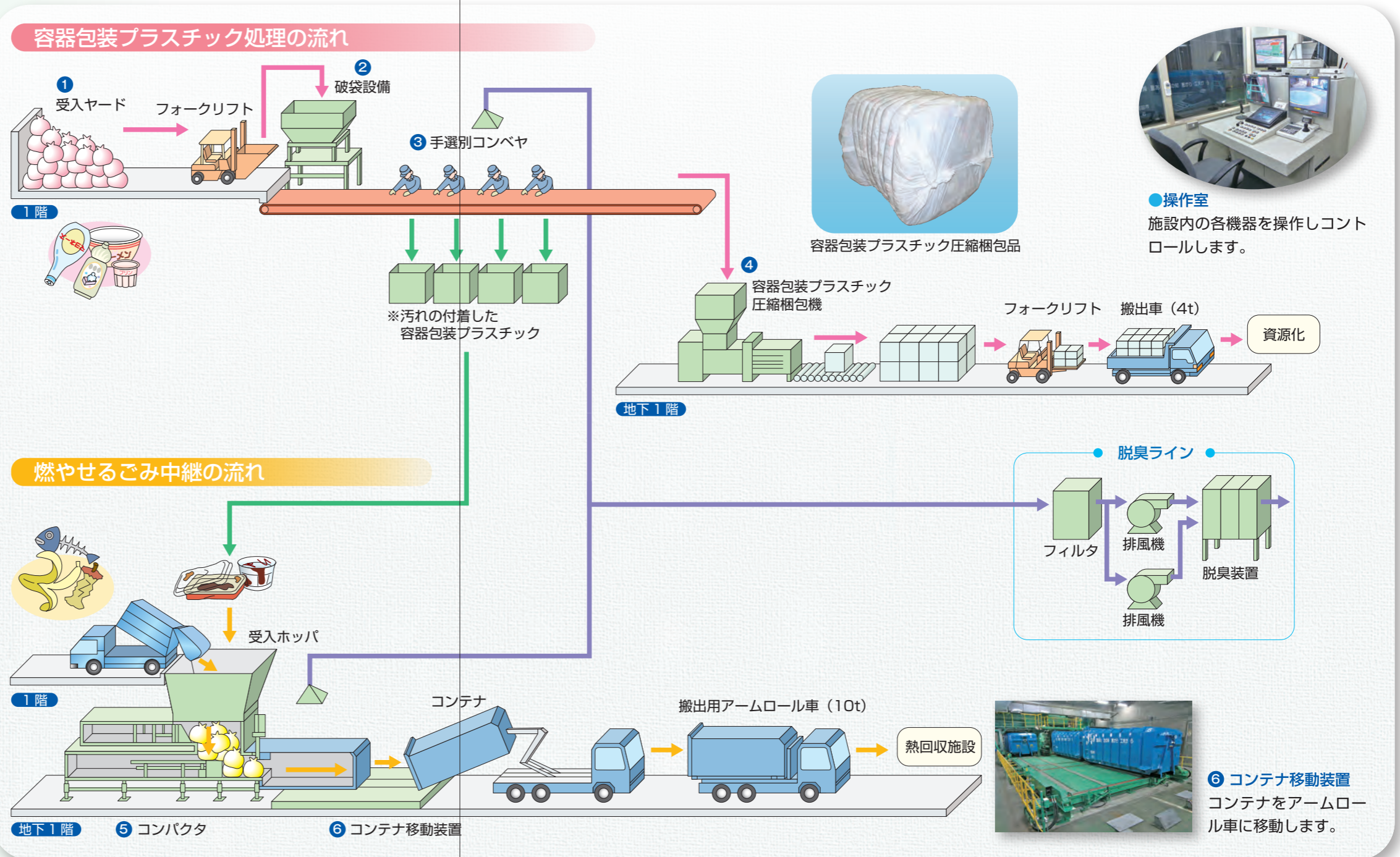
このたび、新たな「ごみの資源化施設」整備の第一歩として、市南部の燃やせるごみの中継施設である「リレーセンターみなみ」に、容器包装プラスチックの資源化施設を整備いたしました。2016年4月から稼動し、JR横浜線の南側地域において、市全域に先行して容器包装プラスチックの分別収集を行っています。

容器包装リサイクル法が2000年に施行されてから、多摩地区では、26市中21市が容器包装プラスチックの資源化を実施しています。町田市では、この分野での取り組みが遅れていましたが、この施設の稼動により、ようやく容器包装プラスチックの資源化に向けて新たな一歩を踏み出すことができました。

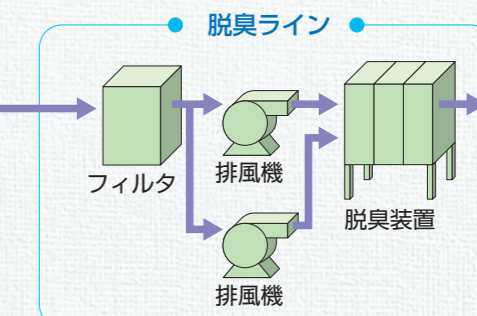
これもひとえに、本施設の整備にあたり、周辺にお住まいの皆様と関係各位にご協力、ご理解いただいた賜物であり、心からお礼申し上げます。

今後とも市民の皆様と協働で、新しい持続可能な循環型社会の形成を図ってまいります。

2016年4月1日



●操作室
施設内の各機器を操作しコントロールします。



●6 コンテナ移動装置
コンテナをアームロール車に移動します。

全体計画

燃やせるごみ中継施設

燃やせるごみはコンパクタによりコンテナに積み替えてアームロール車で熱回収施設に搬送します。

容器包装プラスチック圧縮梱包施設

収集した容器包装プラスチックは、収集袋を破袋して汚れの付着した不適物や異物を除去し、(公益財団法人)日本容器包装リサイクル協会「引取り品質ガイドライン」に準拠して圧縮梱包し、容器包装プラスチックの資源化ルートにのせます。容器包装プラスチックの圧縮梱包品は、こぼれや臭気が生じないように、フィルムで巻いて、樹脂バンドで梱包し、資源化します。



① 受入ヤード
容器包装プラスチック収集袋で搬入された容器包装プラスチックを一旦貯留します。



② 破袋設備
袋を破いて容器包装プラスチックを取り出します。



③ 手選別コンベヤ
汚れの付着した不適物や異物を人の手によって取り除いています。



④ 容器包装プラスチック圧縮梱包機
選別した容器包装プラスチックを圧縮梱包します。



⑤ コンパクト
燃やせるごみをコンテナに押し込みます。